取扱説明書 保存用

塩素殺菌装置

（据置型車椅子式入浴装置 ライラック専用）

正しく安全にお使いいただくため、ご使用前にこの「取扱説明書」をよくお読みください。「取扱説明書」はいつでも使用できるように、見やすい場所に大切に保管してください。

Rehabilitation SAKAI

01-135①F5

≪現場用≫

取扱説明書

塩素殺菌装置

（据置型車椅子式入浴装置　ライラック専用）

正しく安全にお使いいただくため、ご使用前にこの「取扱説明書」をよくお読みください。「取扱説明書」はいつでも使用できるように、見やすい場所に大切に保管してください。

Rehabilitation SAKAI

01-135①F5

危険、警告、注意、参考の定義
⚠ 危険　・・・　死亡または重傷を負うことに至る切迫した危険状況。 ⚠ 警告　・・・　死亡または重傷を負う可能性がある危険状態。 ⚠ 注意　・・・　軽傷または中程度の障害を負う可能性がある危険状態。 物的損害の発生のみが予想される様な危険状態。 参考　・・・　操作・保守において、知っておくと得な装置の性能や誤りやすいミスに関する事項。

安全のための使用上のお願い（本文中にも記載）

⚠ 警 告　１．薬液の次亜塩素酸ナトリウムは酸性の製品と一緒に用いないでください。人体に有害な塩素ガス等の発生の恐れがあります。

２．誤って薬液を飲んだ場合、吐かせることはせず、多量の水や牛乳、生卵等を飲ませてください。その後、「次亜塩素酸ナトリウム」を飲んだと云って医師にご相談してください。

⚠ 注 意　１．薬液が目に入った場合は、すぐにきれいな水で十分洗い流し医師の診察を受けてください。

２．薬液が、誤って人体または衣服についた場合は、すぐにきれいな水で洗い流してください。

３．薬液の補充等、薬液が手に付着する恐れのある場合は、安全の為、ゴム手袋等を着用してください。

４．薬液の補充の際は、十分に換気を行ってください。

５．操作部のスイッチ類には水をかけないでください。

６．貯湯タンク内に湯があり、循環ろ過装置が作動していることを必ず確認してから殺菌を行ってください。

目　次

１．殺菌システムの変更について 2

２．用途 3

３．各部の名称 3

４．殺菌操作方法 4

４－１ 浴槽殺菌の操作 4

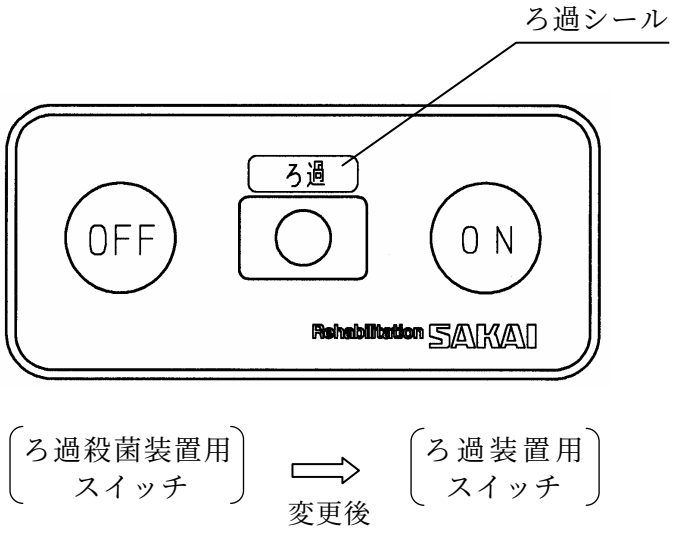
４－２ 浴槽水殺菌の操作 5

５．薬液の補充及び薬液取扱いの注意 6

６．お手入れの仕方 8

１．殺菌システムの変更について

これまでご使用いただいていた銀イオン殺菌装置は、本装置設置時に使用できないように設定の変更を行っています。それに伴い、循環ろ過装置及び銀イオン殺菌装置の ON/OFF を行う『ろ過殺菌装置用スイッチ』は、本殺菌システムに変更後は、循環ろ過装置の ON/OFF を行う『ろ過装置用スイッチ』となります。その為、本装置設置時にはスイッチシートに表記されている“ろ過殺菌”の文字上に“ろ過”シールを貼ります。本殺菌システムでは、循環ろ過装置が作動していないと殺菌が行えない仕組みとなりますので、殺菌を行う前にスイッチを“ON”にしてください。

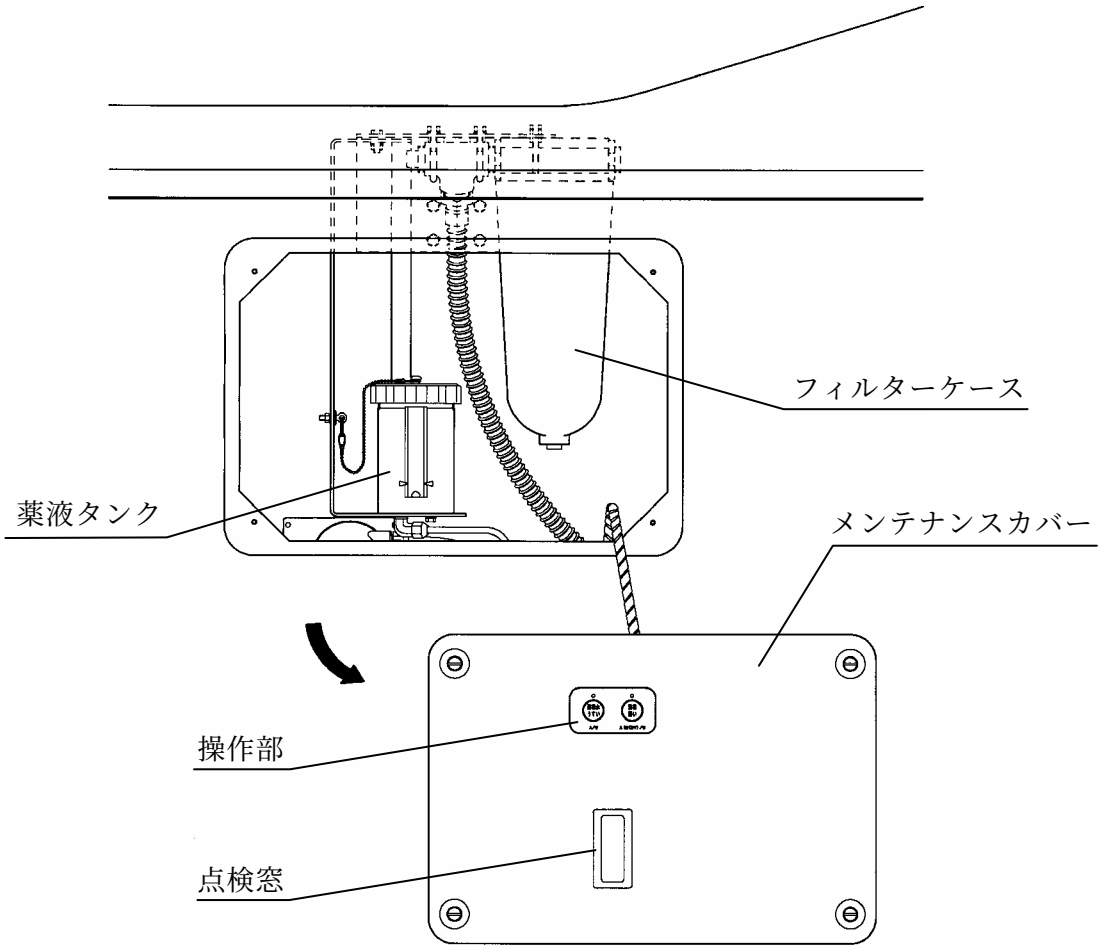


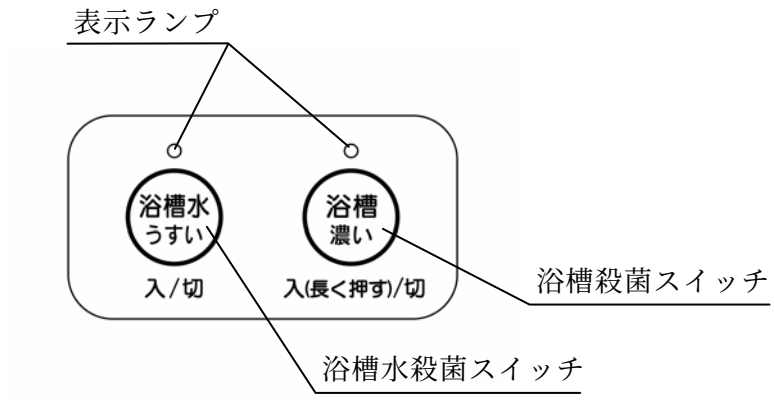
（ろ過殺菌装置用スイッチ） ⇨ 変更後 （ろ過装置用スイッチ）

２．用途

本装置は、当社の据置型車椅子式入浴装置 ライラックに組み込んで使用し、浴槽水及び浴槽の塩素殺菌を行うことを目的とした装置です。

３．各部の名称





操作部詳細

４．殺菌操作方法

殺菌には２種類のモードがあります。一定湯量※1に対し約１ppm相当分※2の量の薬液を貯湯タンク内に注入し、一日の入浴作業終了後に浴槽とタンクと入浴用車椅子の殺菌を行う『浴槽殺菌』と、一定湯量※1に対し約０．４ppm相当分※2の量の薬液を貯湯タンク内に注入し、複数の方の入浴により湯が汚れている場合などに浴槽水（お湯）の殺菌を行う『浴槽水殺菌』の２種類があります。

※１ 一定湯量とは、貯湯タンクにお湯を溜める際、浴槽操作部の入浴スイッチを押して自動的に貯湯タンク内に溜まる湯量をさします。

※２ 薬液の濃度は純水に薬液を注入した場合の参考値です。湯の汚れ具合や、水道水に含まれる残留塩素により、注入量分の濃度にならない場合があります。

４－１ 浴槽殺菌の操作

１）殺菌を行うには、浴槽の循環ろ過装置が作動していないと行えませんので、２ページの“１．殺菌システムの変更について”に記載の、ろ過装置用スイッチを“ON”にしてください。また、殺菌を行う前に薬液の残量を確認してください。薬液の残量が残り少なくなったら、６ページの“５．薬液の補充及び薬液取扱いの注意”に沿って薬液を補充してください。

２）入浴用車椅子を通常の入浴と同じように浴槽にセットして扉を閉めます。

３）浴槽殺菌スイッチを長押し（約４秒）すると、スイッチ上部の表示ランプが点灯し、薬液が貯湯タンク内に注入されます。（スイッチを押してから、約５分間）注入が終わると表示ランプは消灯します。途中で停止する場合は、再度浴槽殺菌スイッチを押してください。表示ランプが消灯し、薬液注入動作が停止します。

４）薬液の注入が終わり、スイッチ上部の表示ランプが消灯したら、浴槽操作部の入浴スイッチを押し、浴槽内にお湯を送湯してください。浴槽内の殺菌のため、送湯後、約３分程度放置してください。

5）浴槽内の殺菌が終わりましたら、浴槽操作部の出浴スイッチを押して貯湯タンク内にお湯を戻してください。貯湯タンク内の殺菌のため、送湯後、約３分程度放置してください。殺菌が終わりましたら貯湯タンクのタンク用排水バルブのレバーを“OPEN”の位置にしてタンク内の湯を排水します。

⚠ 注意

１）浴槽殺菌は、入浴作業終了後に浴槽水を捨てる前に行なってください。浴槽殺菌を行った後に入浴した場合、入浴者に健康被害を及ぼす恐れがあります。また、浴槽殺菌を途中で停止して、再度入浴を行う場合にも、入浴者に健康被害を及ぼす恐れがありますので注意してください。

２）貯湯タンク内に湯があり、循環ろ過装置が作動していることを必ず確認してから殺菌操作を行ってください。

４－２ 浴槽水殺菌の操作

１）殺菌を行うには、浴槽の循環ろ過装置が作動していないと行えませんので、２ページの“１．殺菌システムの変更について”に記載の、ろ過装置用スイッチを“ON”にしてください。また、殺菌を行う前に薬液の残量を確認してください。薬液の残量が残り少なくなったら、６ページの“５．薬液の補充及び薬液取扱いの注意”に沿って薬液を補充してください。

２）浴槽水殺菌スイッチを押すと、スイッチ上部の表示ランプが点灯し、薬液が貯湯タンク内に注入されます。（スイッチを押してから、約２分間）
注入が終了しても、表示ランプは約１時間点灯し続けます。この間は、薬液の濃度が濃くなりすぎないように再度浴槽水殺菌を行うことはできません。

３）貯湯タンク内の湯は循環ろ過装置により攪拌されますので、循環ろ過装置は運転したままにしてください。

参考　薬液注入中の約２分間で、再度浴槽水殺菌スイッチを押した場合は、注入を停止させることができます。この場合、次の殺菌操作時には残り時間分の薬液注入となります。

⚠ 注意　貯湯タンク内に湯があり、循環ろ過装置が作動していることを必ず確認してから殺菌操作を行ってください。

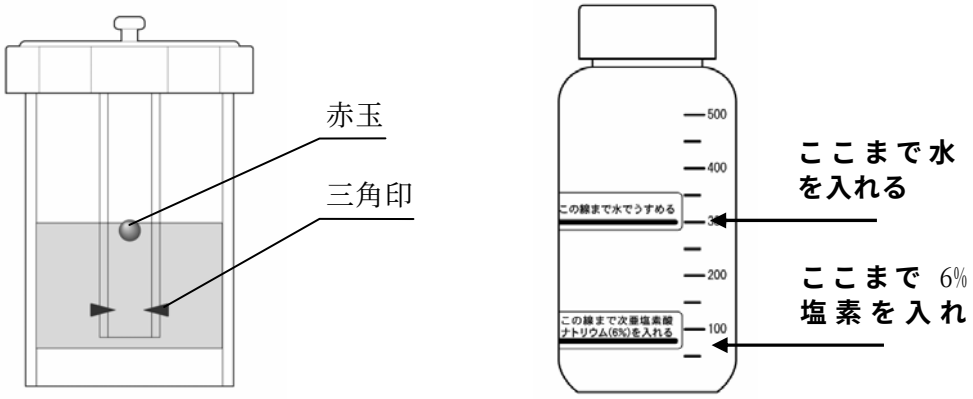
５．薬液の補充及び薬液取扱いの注意

薬液の残量は、点検窓から確認することができます。残量を確認し、赤玉が薬液タンクの三角印を過ぎたら、速やかに次亜塩素酸ナトリウム(1.5%溶液)を補充してください。薬液タンクの容量は、三角印を過ぎてから補充する場合は 300cc入る容量になっています。

市販の６%次亜塩素酸ナトリウム溶液を４倍に希釈して補充する際は、付属の希釈ボトルを使用し指定のレベルまで薬液と水道水または精製水を入れて薬液タンクに補充してください。

薬液を扱う前には、必ず薬液の容器に書かれている取扱いの注意をよく読んでください。

薬液推奨品：㈱オーヤラックス製「ピューラックス」



⚠ 警告

１）次亜塩素酸ナトリウムは、酸性の製品の近くに置いたり、一緒に用いたりしないでください。人体に有害な塩素ガス等を発生する恐れがあります。万が一塩素ガスを吸込んだ場合は、直ちに医師の診察を受けてください。

２）誤って薬液を飲んだ場合、吐かせることはせず、多量の水や牛乳、生卵等を飲ませてください。その後、「次亜塩素酸ナトリウム」を飲んだと云って医師にご相談してください。

⚠ 注意

１）薬液が目に入った場合は、すぐにきれいな水で十分洗い流し医師の診察を受けてください。

２）薬液が誤って人体または衣服についた場合は、すぐにきれいな水で洗い流してください。

３）薬液の補充等、薬液が手に付着する恐れのある場合は、安全の為、ゴム手袋等を着用してください。

４）薬液は濃度が 1.5%のものを使用してください。濃度が異なりますと殺菌効果への影響や、機器の故障につながります。

５）薬液補充の際は、浴槽の元電源を必ず切ってから行ってください。

６）薬液補充の際は、十分に換気を行ってください。

７）薬液はＦＲＰを変色させたり、金属部を劣化させることがありますので、こぼさないように注意してください。こぼした場合は、濡れた布できれいに拭き取ってください。

８）不要となった薬液は、水で十分に薄めてから処理してください。

９) 空になった薬液の容器は、よく洗い流して処理してください。

10）薬液は、経時変化により殺菌効果が弱くなりますので、容器に表示されている使用期限内のものをご使用ください。

６．お手入れの仕方

１）貯湯タンク外面や浴槽及びカバーはＦＲＰ製です。たわし等でこすりますと傷が付きますのでスポンジ等の柔らかいもので洗浄してください。

２）操作スイッチは、雑巾等で軽く拭く程度にしてください。

⚠ 注意　操作スイッチにシャワー等で絶対に水をかけないでください。故障する恐れがあります。

３）１日の入浴作業終了後は、薬液の成分を落とすため、浴槽及び貯湯タンク内と入浴用車椅子をきれいに洗浄してください。洗浄後は浴槽内と入浴用車椅子の水滴を雑巾で軽く拭き取ってください。

４）使用後は浴室の湿度を下げるため換気を行ってください。